

Publicity Report

新聞・インターネット・情報誌などで
紹介されたミックの記事のご紹介

mic
House & Life

[ミック]グループ 株式会社三春情報センター

[リフォーム産業新聞 WEB] 2018年8月27日(月)掲載 (発信:株式会社リフォーム産業新聞社)

リフォーム産業新聞

The Remodeling Business Journal

三春情報センター、海を感じる鎌倉リノベーションギャラリーをオープン

■1326号 (2018/08/27発行) 12面

Re:story

リノベーションの物語

鎌倉リノベーションギャラリー

三春情報センター(神奈川県横浜市)は、鎌倉にある築37年のマンションの一室にリノベーションギャラリーをオープンした。ポイントは「素材感と妥協のない統一感」と、プロジェクトを統括した楠元知毅執行役員は語る。



リノベーション前のリビングダイニング(before)

ガラスの間仕切りで個室になるが、空間に連続性がある(左下)個室との間の壁をなくした。窓際には収納もできるベンチソファを設置

素材感を楽しむ、開放感ある空間

同物件は湘南スタイル。自然素材を用いたナチュラルで、窓から入ってくる潮風が心地よい空間だ。リノベーション前より天井を15cm高くし、リビングと個室の間を開閉可能なガラスの間仕切りにした。「空間を広く使って、開放感があり人が集えるような場所にしたい」と楠元氏。デザインは建築家の泉谷吉信氏が手がけた。

海に程近い同マンションでの暮らしをイメージしたつくりになっていることも特長。玄関から洗面所までを土間仕上げにし、海から戻り、砂がついたままでもそのままお風呂にいけるようにした。サーフボードや自転車を置くこともできる。お風呂場と洗面所、トイレの床も玄関と同じモルテックス。間の壁は、上部をガラスにし、明るく密閉感を感じさせないように工夫した。



玄関から洗面所までは土間仕上げ。海から帰ってそのままお風呂に行けるような暮らしをイメージ(左)
キッチンガラスアートが洗面所からも見える(中)
ベッドルームにもガラスランプ(右)

「素材を大事にしたかった」と楠元氏。床はチークの無垢材、一部の天井はレッドシダーを採用し、壁は塗装仕上げだ。「窓を開けて空気が流れると自然素材の良さがより感じられる。居心地がいいです」(楠元氏)。キッチンもシステムキッチンにモルテックスを塗り、素材感を楽しめ、存在感のあるものにした。



システムキッチンにモールテックスを塗り存在感を(上)
 ガラスランプとアートが印象的なダイニングキッチン(左下)
 海をイメージしたガラスアート右下

ほかにも、ガラス職人である賀来ヨナス氏が海をイメージしたガラスアートやランプをオリジナルで製作。ガラスランプの光が壁に水面の揺らぎのような陰影を描く。家具は鎌倉でアンティークショップを営む吉川淳也氏がセレクト。

同級生4人による妥協なき統一感

実は、楠元氏、泉谷氏、賀来氏、吉川氏の4人は共に鎌倉で育った同級生。「それぞれの道歩んできましたが、どこかで重なり合う何かが出来たらいいよねと話していました。40代になって、仕事に誇りを持った今なら、自信を持ってコラボレーションできると今回のプロジェクトに至りました」と楠元氏。

4人のコラボレーションによって生まれたのは、妥協のない統一感だ。「同じコンセプト、同じ暮らし方を描くことができる4人だからイメージが1つになりました。ただ一流の人を集めても、それぞれが色を出してしまい、統一感が生まれません」と楠元氏は語る。「リノベーションは予算や空間の限度で妥協が生まれてしまうが、この物件は、ここはちょっと……という部分がない」

同社は、中古物件を買い取り、リノベーションをして期間限定でモデルルームとして公開。その後売却している。同物件のリノベーション費用は1600万円ほど、販売価格は4280万円を予定している。前期のリフォーム売上高は12億円。

ミックでは中古+リノベーションのご提案を積極的に行っています。リノベーションギャラリーを設置し、実際に施工を見ていただくことで、お客様の好みや希望をより具体的に引き出し、お客様にとってより良い住まいと暮らしのご提案を行っています。

現在、鎌倉市由比が浜にリノベーションギャラリーをオープンしています。

本件がリフォーム産業新聞 WEB に掲載されました。

